



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより

令和 4年 5月 17日

第 4 号

<落ち着いた学校生活を…>



新学期早々の忙しさと連続した休日で、学校生活はなかなか落ち着かない状態でしたが、これからは、学習にも運動にも、係活動や委員会活動にもじっくり取り組める時期です。



さて、5月9日に生駒市教委の学校訪問があり、4名の教育委員さんと原井生駒市教育長はじめ7人の市教委関係者が、校舎や子どもたちの様子を見に来られました。授業を見て「子どもたちがとても落ち着いている。」「子どもたちにも先生にも活気がある。」「校舎内や教室が整理されている。」という言葉いただきました。

本校教員も4月からの児童の変容を嬉しく思っています。新年度になってからは早すぎる登校は減りましたし、休み時間に遊んではいけないピロティーや駐車場で走り回って注意される姿はありません。専科の授業を受ける際の態度も授業規律を乱すような粗暴な言動は減りました。委員会活動では6年生が手本になって仕事をしています。

これはきっと地域の方や保護者の皆様のご支援とご協力のおかげです。子どもたちの様子が持続するよう、教職員は気を緩めることなく、また現状に満足することなく、子どもを見守っていかなければならないと思います。教職員からは、「これからですよ。これから10か月、同じ状態でいられるかどうかです！」と力強い言葉が返ってきました。

<新しく着任した先生について>

1か月以上、教員が1名足りない状況が続き、地元の皆様からお知り合いを紹介してもらったり、「ボランティアで行きませんか」と電話を頂いたりしました。ご心配をおかけしまして申し訳ございません。この度、寒川昌宏(さむかわ まさひろ)



が算数少人数指導教員として赴任しました。これからは3～5年生の算数の授業を担当します。授業中は担任の補助として、困っている子どもたちへのアドバイスをしたり、担任に代わって授業を行ったり、また、学級を2分して担任と少人数指導教員がそれぞれ別教室で基礎問題と発展問題を教えたりすることになります。

<授業参観と学級懇談会>

20日(金)からは、2学年ごとに授業参観と学級懇談会があります。今度の参観と懇談は、多くの保護者の皆さんに参加していただけるように、午後に参観時間と学級懇談会の時間をまとめました。学級懇談会は保護者の皆さん同士が情報交換できる場です。家庭での様子、お子さんの習い事や趣味、好きなもの、お手伝いや兄弟姉妹との関係など、他の保護者の皆さんと交流するきっかけになります。

どうか、お時間を作っていただき、多数出席していただけますよう、お願いいたします。



<学生サポーターの来校>



5/12 から来年1月末まで、奈良学園大学から、将来の教員を目指す男子大学生がボランティアとして週一日来てくれることになりました。松浦さんです。子どもたちと年齢が近いので、教員より話しやすいかもしれません。毎回一つないし二つの学級に入り、登校から下校まで子どもたちと共に過ごします。

<悩み相談箱>

「修学旅行を兵庫の淡路島にしてほしい」という主旨の投書が6年生男子児童6名から次々と寄せられました。恐らく子ども同士で修学旅行の話題になり、強い自分たちの思いを投書箱に入れたものと思われます。

しかし…修学旅行は個人旅行と宿泊規模が違いますので、簡単にホテルや旅館、見学場所は予約できません。そのため、1年前にはすでに旅行先が決定しています。昨年度の新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ていると、兵庫県は大都市が多く、感染者数がすぐに増加し、まん延防止等重点措置が発令されやすく、また、なかなか解除されないため、兵庫県への修学旅行は中止になる確率が高くなると判断しました。



<校区巡りの付き添いボランティアにご協力ありがとうございました>

3年生の校区巡り(鹿畑地区)にたくさんのボランティアさんが付き添ってくださいました。子どもたちの安全な学習活動のためにご協力いただきまして、ありがとうございました。